

平成 30 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号

53

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴 有			
事務事業名	ふるさと応援寄附事業				
予算科目	2 款 1 項 1 目				
予算事業名	一般管理費				
総合計画での位置づけ	効率的で健全な行財政運営の推進				
担当課	総務課	担当課長	実渕 孝則		
事業担当者	中川 美智子	一次評価者	亀井 玲子		
事業の性格	自治事務				
法令根拠等	地方税法				
事業の対象	寄附者				
事業の目的	久山町への寄附を募ることで町の税収増に繋げる。また寄附者への返礼品送付により町のPRを行うとともに町内事業者の活性化を図る。				
実施期間	開始年度	平成 23 年度から			
	終了年度	平成 年度まで			
事業の内容	ふるさと応援寄附を募り、寄附していただいた方へ町の特産品をお礼として贈呈する。				
目的達成の指標	応援寄附件数				
	区分年度	単位	29 年度	30 年度	31 年度
	目標	件	1000	4000	4000
実績	件	2049	3293		
指標設定の考え方	ふるさと応援寄附の特産品等を通じて、当町の魅力をアピールし、当町に足を運んでいただかずか、HPのサイトをのぞいていただけるようにすることが、当町を知る第一歩となることができる。寄附をいただくということは、当町の魅力を知り、興味をもつていただしたこととなるので、その機会を指標とした。				
事業遂行時懸案事項等	特産品の送付にあたり、間違いのないように送付する。また、ワンストップ特例申請書を受け付ける際に、遗漏がないように対応すると同時に、通知書を各自治体へ送付する場合にも間違いがないよう配慮する。				
事業実施時懸案事項対応等	特産品の送付や納付書等の発行については、二人体制でチェックをかけている。				

PLAN(計画)

No.2

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 6,136 円

本算定額には国費 本算定額より減じてあります。(単位)					
項目	29年度予算	30年度予算	31年度予算	32年度予算	
事務量	① 人工数	0.16	0.81	0.81	0.91
	② 人件費単価	7,381	7,350	7,196	7,196
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	1,180	5,953	5,828	6,548
事業費	直接事業費	9,800	49,040	42,172	45,000
	人件費	1,180	5,953	5,828	6,548
	合計	10,980	54,993	48,000	51,548
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	10,980	54,993	48,000	51,548
	合計	10,980	54,993	48,000	51,548

事業費計画

(千円)

区分／年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度
目標	9,800	49,040	42,172	45,000	45,000
実績	15,918	26,552			

事業活動の実績（活動指標）

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 3,692 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29年度決算	30年度予算	30年度決算	
事務量	① 人工数	0.81	0.81	0.91
	② 人件費単価	7,129	7,350	7,187
	③ 補助事業人件費		0	
	人件費(①×②-③)	5,774	5,953	6,540
事業費	直接事業費	15,918	49,040	26,552
	人件費	5,774	5,953	6,540
	合計	21,692	54,993	33,092
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	地方債		0	
	その他		0	
	一般財源	21,692	54,993	33,092
	合計	21,692	54,993	33,092

実施備忘録

CHECK(評価)

No.3

自己評価	評価者	中川 美智子
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ← → 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か?	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか?		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の□にチェックしてください。	4	B
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
3. 実施内容は適切か?		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	5	A
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	見直しの具体的な内容
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

事業についての事務は、創意工夫をしながら実施しており、かつ、寄附者情報等の管理も徹底に努めている。29年度に比べると大幅な増となつたため上記の評価とした。協力事業者との調整や、寄附者への対応等、親切丁寧に心掛けており、表立ったクレームはないため、今後も現状を維持し、さらなる寄附を募りたい。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

29年度より増となっているが、それは特定の協力事業者へ希望が集中しているためであるので、今後は、それを活かして特産品の開発等に努めたい。また、使途についても当町の魅力をアピールできるものに変えるなど、工夫が必要であると捉えている。総務省による縛りが今後出てくるが、それを遵守しつつ、寄附者・協力事業者との関係を良好にし、さらなる寄附の増を目指したい。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

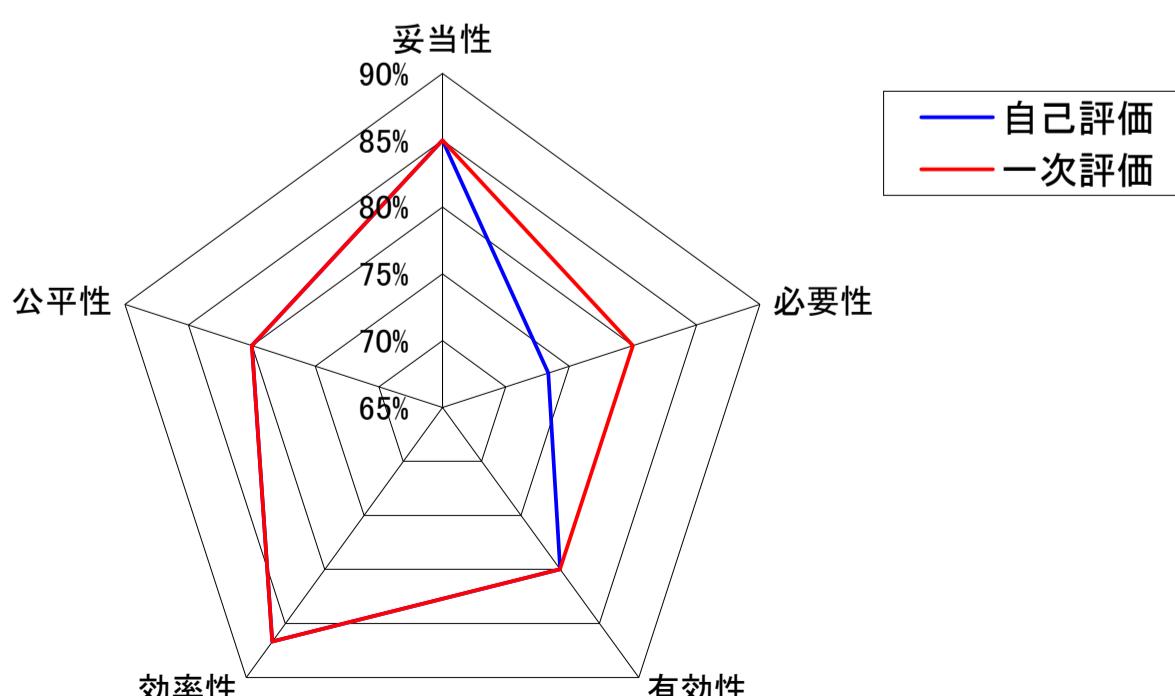
一次評価	評価者	亀井 玲子	5段階評価で評点を付けます。 5 大 ← → 小 1 ↓	
1. そもそも必要な事業か？			評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。			4	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。			4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。			4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。			5	
2. 町が実施する必要があるか？				
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の□にチェックしてください。				
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。			4	B
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。			4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。			4	
3. 実施内容は適切か？				
①有効性				
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。			4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。			4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。			4	
②効率性				
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。			5	A
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。			4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。			4	
③公平性・透明性				
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)			4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。			4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。			4	

今後の方針	見直しの具体的な内容
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

この事業については、寄附者へのPRが寄附に大きく影響するため、町内の協力事業者とも調整しながら、今年度もサイトの委託先を一つ増やしたこと、大幅な増となった。しかし総務省からの見直しの通達もあり、また特産品も偏ってしまっているので、さらに魅力ある特産品の開発等進めたい。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者

実渕 孝則

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

ふるさと応援寄附金は順調に増えてきているが、今後はこの寄附金を使った特産品の開発等の事業と連携し、更なる事業推進を図る。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。

- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定

- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

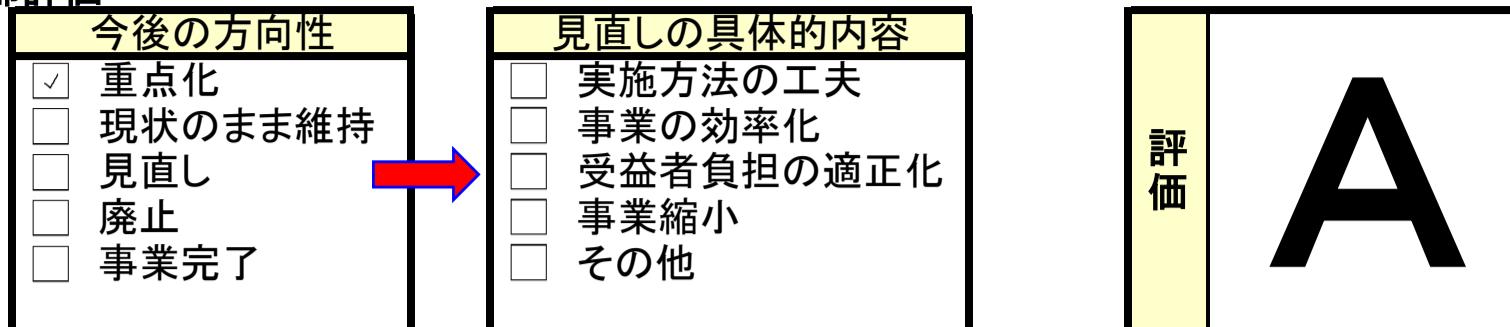
手段	
内容	

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

外部評価



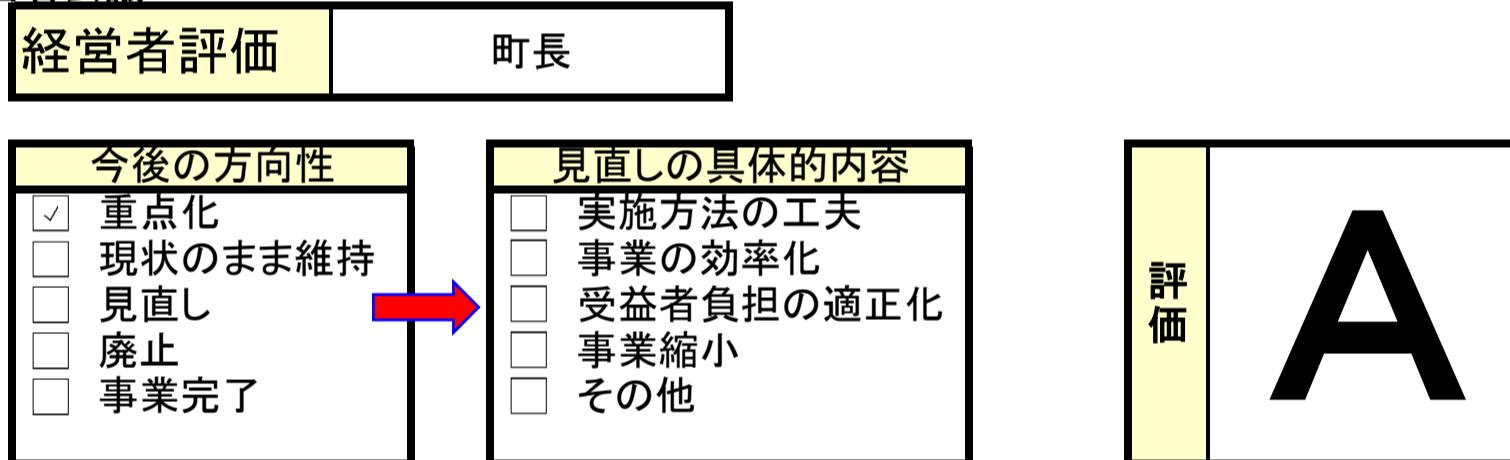
外部評価委員の意見

町の単年度予算の2%程度の事業規模ではあるが、町の財政を豊かにし町のことを対外的にアピールするよい事業である。

また、返礼品について、町の特産品にこだわっているという点も良く、今後多くの方に町のことを応援していただけるよう、町独自の特産品の開発に力を入れていただきたい。

一方で、収入に対する事業経費の比率について、今後もしっかりとバランスをとって事業を進める必要がある。そのためにも、寄附金の特性などを分析し、今後の展開の参考としてはどうか。

経営者会議



経営者会議の評価

現在、返礼品は全品町内産の商品に限定して用意しているが、引き続き、町内の商工業者と連携し、新たな返礼品の開発や返礼品を通した町のPRに力を入れていく。